



No.70 2020.8.18

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

明石コミュニティ創造協会 Zoom 体験会参加者アンケートから

明石コミュニティ創造協会（以下コミ創）さんは緊急事態宣言の発令直後から Zoom の体験会をスタートされ、ニーズに合わせて途中から隔週で夕方にも開催するなどフットワークの良さにはいつも驚かされます。私が主催者として Zoom の体験会を開催できるようになったのもこの体験会のおかげです。コミ創さんは体験会だけでなく、まちづくり協議会さんの広報紙の編集会議等も Zoom で開かれ、司会・記録・フォローとチームで会議を運営するなど、オンラインでの会議を開催するにあたって参考になることがいっぱいあります。コミ創さんが Zoom 体験会の参加者向けにおこなったアンケートの結果を見るといろいろと見えてくるものがありました。



参加者の年代で見ると

80代→5.5%

70代→31.5%

60代→20.5%

50代→20.5%

40代→15.1%

30代→6.8% となっています。

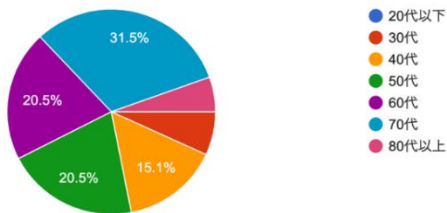
60代以上で約6割、50代以上だと約8割

となっており、シニアの方の興味・ニーズの高さが表れています。

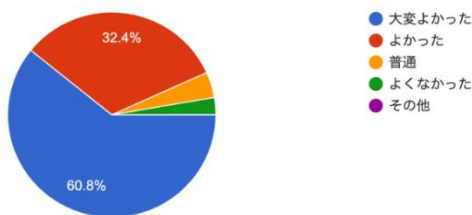
参加されての満足度も高く、その満足度の高さが、オンライン会議の活用にもつながっているように思います。

活用法ではまちづくりを含めた各種団体の役員会やミーティングですが、なかにはオンラインでの学習支援や Zoom 落語会、海外の方と写真を画面共有でシェアしてバーチャル旅行といったものもあり、活用方法が会

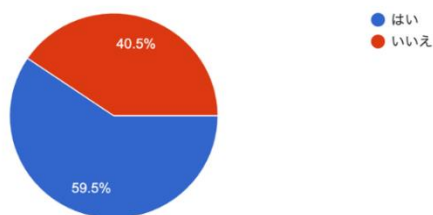
2. 年代
73件の回答



6. 参加されての満足度はいかがでしたか？
74件の回答



8. 参加後にオンライン会議を使われましたか？
74件の回答



議だけでなく、楽しむことに活用するなど、活用方法のアイデアの柔軟さには驚かされます。オンラインを敬遠しがちと勝手に思っていました。シニアの方のパワーとチャレンジ精神に大きな刺激を受けました。また、こうした体験会をニーズに合わせフットワークよく開催できるのは、まちづくりなど地域支援にあたっているコミ創さんのこれまでの経験からでてくるものだろうと思います。コミュニティ・スクール（以下コミスク）を進めるにあたって、そのフットワークの良さを見習っていかねばならないと思っています。また、アンケート結果から小中学校の保護者の年代層が低めなのは、仕事をしておられ時間の都合がつかなかったということはあると思いますが、実際に仕事や生活の場面で使っておられるということが大きいのではないかと思います。朝霧小コミュニティ・スクールで Zoom の体験会を実施しますが、参加者を募集する中で、保護者さんから「保護者の多くはオンラインを実際に使っているのだから、体験となると・・・。活用場面となると関心も高くなるのでは」といったアドバイスをいただきましたが、このアンケートの結果につながっているように思います。

今後こうしたオンラインが普通になるなかでコミュニティ・スクールとしていい学校づくり=いいまちづくりに欠かせない“対話や交流”を深める重要なツールになっていくと考えています。その第1弾として朝霧小コミスクでの Zoom 体験会を実施する中で、今後の活用法などを参加者の皆さんにお聞きしてみたいと考えています。Zoom 体験会がミニ対話の場となればいいなと思っています。

校内研修会を開く “ Meet de 参加 和坂小校内研修会 ”

8月20日に和坂小学校で「環境体験を通したカリキュラムマネジメント」研修会に参加させていただきます。これまで明石公園で行ってきた環境体験学習を発展させ、桜に焦点をあて「桜守プロジェクト」として構想した単元をベースにカリキュラムマネジメントを考えようというものです。「桜守プロジェクト」の秘めた可能性と、コミュニティ・スクールとの関係について少しお話をさせていただけたらと思っています。

急でしたが、今後の学びのあり方を考えるきっかけとして、またこれからの研修会のあり方を考えるという面から Meet での公開をお願いしたところ快諾していただきました。Meet での中継がうまくいくかどうかちょっと心配ですが、実験的に Meet での配信にもチャレンジします。Meet での和坂小の研修会に参加をご希望される方は19日の17時までに学校教育課北本までご連絡ください。会議コード等をお知らせさせていただきます。

オンラインで開かれる学びの場



オンラインに目が向き始めると、今オンライン上では「これからの学校づくり」に関する講話や対話等が有料 or 無料で開催されています。熊本市の遠藤教育長と熊本大の苦野先生と前田先生の鼎談、苦野一徳先生と木村泰子先生の対談など、これからの学校をデザインする上で刺激を受けるものがたくさんあります。また YouTube 上には経産省の「未来の教室」関係や「Learn by Creation」の研修会等オンラインでの研修会の動画がたくさんあがっています。学びの場は確実に開かれてきています。自分たちで変えようという意識を持つとヒントがいっぱい周りにはあるのかもしれないね。

(文責：北本)